

このページでは、オリエンテーリングの底辺拡大を期待して、パーマナント・コースの紹介をして行きたいと思います。全国各地で元気に頑張っているお勧めコースの紹介と、ミニ情報をお伝えします。第1回目の今回は、昨年10月にリフレッシュされた岡山県備前コースをご紹介します。

備前コース 10km 10ポスト 岡山 No.10 JOA 公認 No.242

備前焼の里、岡山県備前市西部に備前コースのスタート地点、「伊部(いんべ)」駅があります。岡山駅からJR赤穂線での所要は30分余り。大阪からは新快速を利用すると、姫路や播州赤穂での乗り換えの時間を含めても1時間40分程の距離です。

駅に到着したら、1階の売店でマップを購入しましょう。パーマナント・コースのマップも多くがO-MAPに改訂される中、このコースは未だ国土地理院の地図を複製していた頃の1:25,000の2色刷りマップが使われています。ちょっとノスタルジックな気分で駅前に立っている案内板からコースを写し取りましょう。設置から四半世紀が経過していますが、99年10月にコース変更の上、ポストも再塗装が行われ、全く新設コースのように生まれ変わっています。以前のコースは8ポストでした。

全体的に山間の道路を歩きますが、一部、1:25,000の地図の特性で道の記載のないところがあり、推理力が必要になります。これが面白味でもあります。

陶器の里ムード満点の駅前から北東方向の山裾を目指す。「天津神社」があります。第1ポストは神社境内の奥に設置されています。ベンキの色が眩しいほどピカピカのポストです。

レンガ製の窯の煙突を見ながら新幹線の高架下を通過すると、「荒神社」があり、狭い境内に立つ第2ポストは直ぐに目にとまります。ここがかつての第1ポストでした。

ここから北進するルートは地図上では途切れていますが、「鬼ヶ城池」手前で東側の道路に合流します。池の北側から旧コースは沢登りの小径へ分け入ったのですが、新コースは道路をそのまま辿ります。因みに、旧第2ポストは、今回ルートから外された沢道の途中に倒れながらも健在です。

第3ポストは簡単。道路を歩いていると、「備前焼熊山古窯跡」に差し掛かったところで呆気なく見付かります。

第4ポストは要注意。「高倉大明神」の参道を進んで行ってしまうと、そこはどん詰まり。「大滝林道」方面に通じる小道を発見できるかが鍵です。

ここから第5ポストまでは地図上に道の記載がありません。コンパスワークを使って、小道の分岐を間違えないように。急な階段を上って道路に出ると第5ポストが迎えてくれます。

「福生寺」近くの第6ポスト、川岸の第7ポストは道端で直ぐに分かります。「天神社」入口の第8ポストは、民家の間のルート選定にやや悩むかもしれませんが、第9ポストは住宅地内の十字路にあります。最終ポストへの道のりは、交通量の多い道路を歩かなければならず、かなりの注意が必要です。赤穂線の南側に出ると、橋の手前に「史跡伊部南大窯跡」への道案内があり、それに従います。窯跡へ行く道とは途中で離れ、墓地へ向かうとその一角に堂々と立つポストに出会えるでしょう。最終ポストから伊部駅までは僅かな距離が残されているだけです。

一度訪れた方でも、新しくなった備前コースにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

(1999年11月14日 大高竜亮 踏破)

ミニ情報

坂町第一(広島 No.16)

坂町第二(広島 No.17)

長年閉鎖状態となっていたが、遂に再開しました。スタート地点は2コースとも以前と一緒で、第一コースはJR呉線坂駅下車徒歩10分の「坂公民館」、第二コースは同じく呉線小屋浦駅下車徒歩5分の「小屋浦ふれあいセンター(旧小屋浦公民館)」になっています。コースはいずれも旧コースから変更されています。

石峯寺(兵庫 No.4)

数年前に山陽自動車道工事のために休止とされましたが、すでに工事は終了し、コースは使えるようになりました。スタート地点は神姫バス三木線「野瀬」バス停で、古びた案内板が立っています。マップとマスターはバス停前の「フレンドリーなんざん」でお求め下さい。

上板(徳島 No.12)

ポストの腐食が進み、半数近くのポストが既に存在しません。辛うじて残っているポストも錆が酷く、現状ではとても回れる状況にありません。マップとマスターは上板町教育委員会に残っています。

桐生(滋賀 No.3)

第二名神高速道路のトンネル工事が始まり、第2ポストから第5ポストの間が通行止めになっています。道路自体が拡張された影響で第2ポストは存在しません。工事は始まったばかりのようで、終了まではかなりの期間を必要とするものと思われます。現状ではお勧めできません。